参考資料

令和６年度
第２回　小川町地域公共交通活性化協議会

長期を見据えた公共交通の取組
他都市事例

令和６年１１月

本資料の構成

1　乗務員確保の推進

事例① 行政として新規採用活動を実施
事例② 関連業界からの再就職支援活動を実施
事例③ 事業者の新規採用時の経費負担を軽減する支援金を行政で創設

2　自動化・効率化の検討

事例④ デマンドタクシーへの配車システムの導入
事例⑤ 自動運転バス

3　地域の輸送資源を活用した新たな移動手段（既存の補完）の検討

事例⑥ 地域住民等のボランティアによる移動手段の確保
事例⑦ 地域団体による有償の移動手段の確保
事例⑧ スクールバスの活用（朝夕の一般利用者の混乗）

令和６年度
第２回 小川町地域公共交通活性化協議会

１　乗務員確保の推進

事例① 行政として新規採用活動を実施

●乗務員として移住者を募集、行政で移住支援補助金を創設
（長野県・長野市・地元バス事業者の連携）

・長野県･長野市では、移住者として乗務員を募集するための支援金制度を創設
（長野県：バスドライバー移住支援事業、長野市：バス運転手確保緊急支援事業）
・バス事業者は、この支援金制度を活用した採用活動を実施しており、3者連携で乗務員確保に取り組んでいる

■対象者（支援条件）
・長野県外からの移住者
・地元バス事業者に雇用された方
（5年以内に退職の場合返金）

■支援内容
・100万円の移住支援金
・１年間の家賃支援
（月額賃料の半額（上限30,000円）を1年間補填）
・指定事業者で賃貸住宅を探す場合に仲介手数料半額
・大型二種免許取得費用全額補助制度を活用可能

出典：長野県、長野市ホームページ

事例① 行政として新規採用活動を実施

●行政によるバス・タクシーの運転体験会、会社説明会を実施

（愛知県豊橋市）

・愛知県豊橋市では、公共交通の維持とその担い手の確保を目的に、市内のバス・タクシー会社が参加する「運転体験会」と「会社説明会」を開催
・体験会・説明会の後、希望者には、市内交通事業者面接までのキャリアデザイン研修やビジネスマナー講習など、手厚いサポートも用意

■対象者

・普通自動車免許(AT限定可)所有者、または1年以内に取得見込み者
(運転体験は免許所有者のみ)

■参加企業

・市内のバス・タクシー事業者４社
（豊鉄バス、豊鉄タクシー、東海交通、ヨシダ交通）

出典：豊橋市ホームページ

事例② 関連業界からの再就職支援活動を実施

●消防職員から乗務員への再就職支援、協定締結による相互支援（南信州広域連合・地元バス事業者の連携）

・14市町村で構成する広域行政組織と地元バス事業者との間で、退職予定の消防職員のうちバス運転士として働くことを希望する者を対象に、退職後に円滑にバス運転士として働ける環境づくりや支援等について、協定書を交わし、取組を推進

■協定の主旨

・大型車の運転に慣れている人が多く、地域の道路事情にも詳しい消防職員のセカンドキャリアを支援するとともに、人手不足が深刻なバス運転手の確保につなげるのが狙い。

■協定の対象者

・５０歳から６３歳までの早期退職や定年退職を迎える消防職員

■支援内容

・再就職を希望すれば大型２種免許の取得費用などをバス会社が負担。

出典：南信州広域連合ホームページ

事例② 関連業界からの再就職支援活動を実施

●若年層自衛官から乗務員への再就職支援、運転体験会＆合同就職説明会（運輸支局、自衛隊、バス・タクシー・トラック協会）

・運輸支局、自衛隊、バス・タクシー・トラック協会が連携し、退職予定の自衛官と運輸業界の人材マッチングを実施
・資格を有する即戦力人材であり就職を目指す退職自衛官と、人材を求める事業者の双方の課題を解決

■説明会の概要
・合同業務説明会
・バス・トラック運転体験
・事業者による個別就職相談

■共催
北海道運輸局札幌運輸支局、北海道運輸局室蘭運輸支局、自衛隊札幌地方協力本部

■協力
陸上自衛隊東千歳駐屯地、北海道バス協会、室蘭地区バス協会、千歳地区ハイヤー事業協同組合、苫小牧ハイヤー協会、札幌地区トラック協会、室蘭地区トラック協会、千歳市地域公共交通活性化協議会、北海道運輸局

出典：北海道運輸局ホームページ

事例③ 事業者の新規採用時の経費負担を軽減する支援金を行政で創設

●二種免許取得費用の全額支援制度の創設（福井県）

- 福井県では、バス・タクシー事業者に乗務員として就職する方が、二種免許を取得する際にかかる費用を行政が負担する制度を創設
- 免許取得費用を負担する事業者が支援金を申請できる制度で、教習料金および免許取得にかかる全額を支援することで、乗務員を確保しやすい環境を整備

■支援額

- 大型第二種免許取得：上限36.2万円
- 普通第二種免許取得：上限26.6万円

■支援要件

- 県内在住の退職予定者

出典：福井県ホームページ

事例③ 事業者の新規採用時の経費負担を軽減する支援金を行政で創設

●女性運転士確保に向けた環境整備補助、新規就労者への支援金制度の創設（千葉県市原市）

・市原市では、路線バスやタクシーの運転士が不足する中、女性運転士の雇用を促進し、公共交通を確保・維持するため、女性の働きやすい環境を整備する事業者に対して、費用の一部を補助する制度を創設
・新規就労者への支援金制度も創設

女性運転士確保に向けた環境整備の補助

■**対象者**
・市内に事業所、車庫又は待機所を有する公共交通事業者

■**対象となる環境整備**
・女性運転士のためのトイレ、更衣室その他の女性用設備
・職場内の子どもの遊び場スペースなど子育て支援設備

■**補助金額**
・整備費の２分の１以内（上限50万円）

新規就労者への支援金

■**支援額**
・路線バス運転士
　就職者：10万円、３年継続して従事者：20万円
・タクシー運転士
　就職者：5万円、３年継続して従事者：10万円

出典：市原市ホームページ

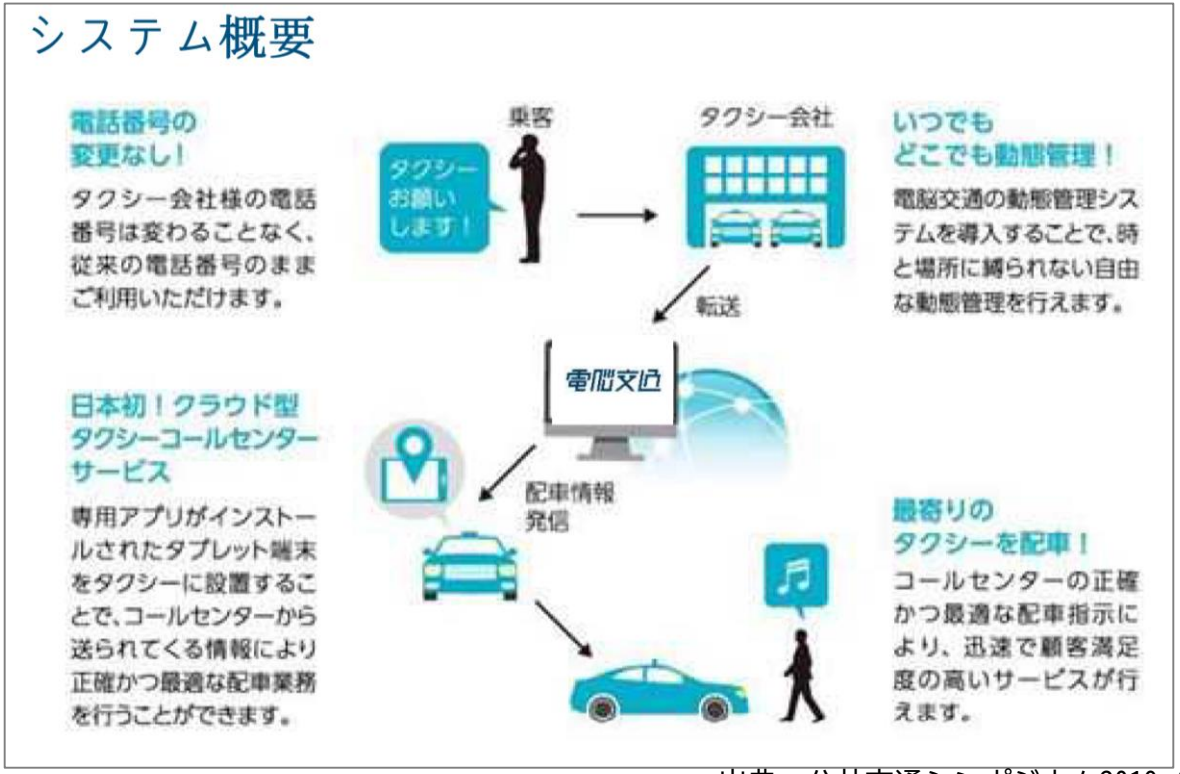
令和６年度
第２回 小川町地域公共交通活性化協議会

２　自動化・効率化の検討

事例④ デマンドタクシーへの配車システムの導入

●クラウド型タクシー配車システム（株式会社 電脳交通）

- 株式会社 電脳交通は、IT化を進めづらい地方部の中小規模タクシー事業者の課題解決を後押しする「クラウド型タクシー配車システム」を提供している。
- 顧客からの入電対応・タクシー差配業務を一括で担うシステムとなっており、自社で実施する場合の人件費やマンパワーの効率化の効果が期待されている。



出典：公共交通シンポジウム2019（関東運輸局）ホームページ

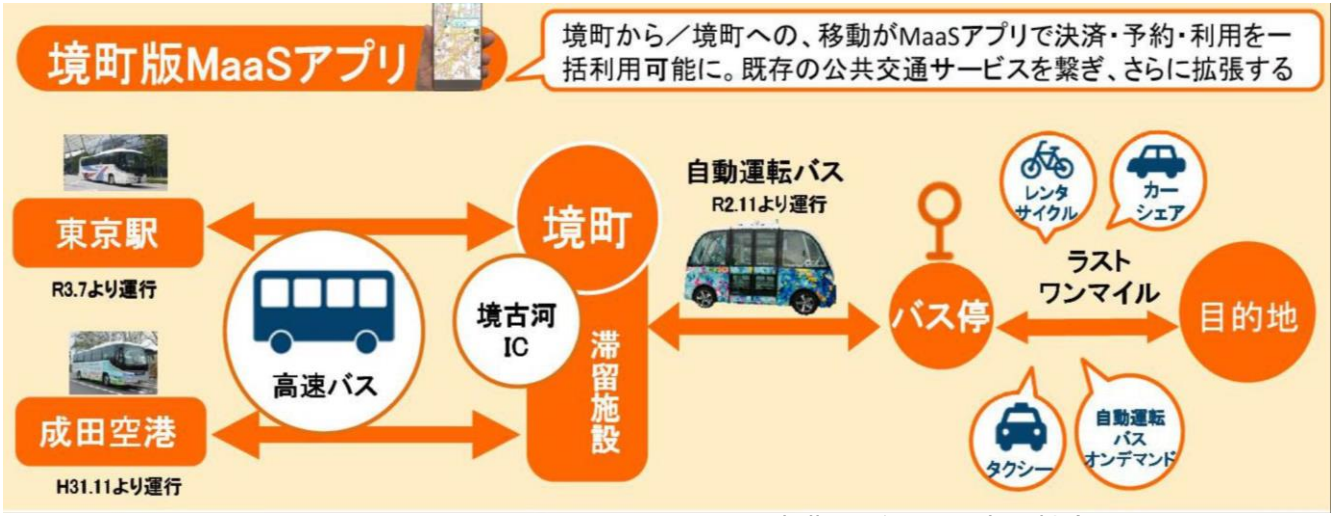
事例⑤ 自動運転バス

●自動運転バス（茨城県境町）

・境町では、ソフトバンク株式会社の子会社であるBOLDLY株式会社及び株式会社マクニカの協力のもと、自動運転バスを3台導入し、生活路線バスとして定時・定路線での運行を令和2年11月26日(木)から開始している。
（自治体が自動運転バスを公道で定常運行するのは国内初）

【運行ルート】

【将来の目指す姿】



出典：デジタル交通社会のありかたに関する研究会（デジタル庁）、境町ホームページ

令和６年度
第２回 小川町地域公共交通活性化協議会

３　地域の輸送資源を活用した新たな移動手段（既存の補完）の検討

事例⑥ 地域住民等のボランティアによる移動手段の確保

●無償の運転ボランティア事業「たすけあいあがの『らくだ号』」（飯能市：飯能市吾野地区 福祉の推進組織あがの）

・飯能市吾野地区では、公共交通空白地域の移動手段を確保するため、地区で設立された地域福祉推進組織が中心となり、社会福祉協議会から貸与された車両を活用してボランティアドライバーによるたすけあいの移送サービスを実施している。

■移送の種別
・法定の種別に位置づけられない無償の移動サービス

■運行主体
・ 福祉の推進組織「たすけあいあがの」
（無償のボランティアドライバーが運転）

■利用対象者
・吾野地区在住で同意書を提出した方

■運行範囲
・茶の間（地域の居場所づくりのサロン）の開催場所
・市内及び近隣市の商業施設

■運行日、時間
・地区ごとに設定された「茶の間」「買い物ツアー」の開催日

■利用料金
・ 茶の間への送迎：無料、買い物ツアー200円（参加費）

出典：飯能市ホームページ

事例⑦ 地域団体による有償の移動手段の確保

●公共交通空白地での地域が運行する有償運送「ラクタク」（飯能市：NPO法人奥武蔵グリーンリゾート）

・事例⑥の無償の運転ボランティアではかなえられない個別の移動ニーズに対応するため、運送対価を得られる公共交通空白地有償運送として移動手段を確保している。
・地域でNPOを設立し、NPOのドライバーが自身の保有車両を活用して運行している。

■移送の種別
・公共交通空白地有償運送

■運行主体
・ NPO法人奥武蔵グリーンリゾート
（事業のために地域で設立されたNPO法人）

■運行範囲
・吾野・東吾野地区内、飯能市内 ※地区外での乗車不可

■利用対象者
・吾野・東吾野地区に在住・在勤で利用登録した方

■運行日、時間
・火・木・金曜日、午前8時～午後6時

■利用料金
・ ２㎞まで500円 以降１㎞ごとに100円加算

出典：飯能市ホームページ

事例⑧ スクールバスの活用（朝夕の一般利用者の混乗）

●スクールバスへの一般利用者の混乗（飯能市吾野地区・東吾野地区）

・飯能市吾野地区･東吾野地区では、スクールバスへの一般利用者の混乗制度を実施しており、利用条件が児童の乗降場所･利用時間に限定されるが、無料での利用が可能となっている。

■利用対象者
・吾野・東吾野地区に在住・在勤で利用登録した方

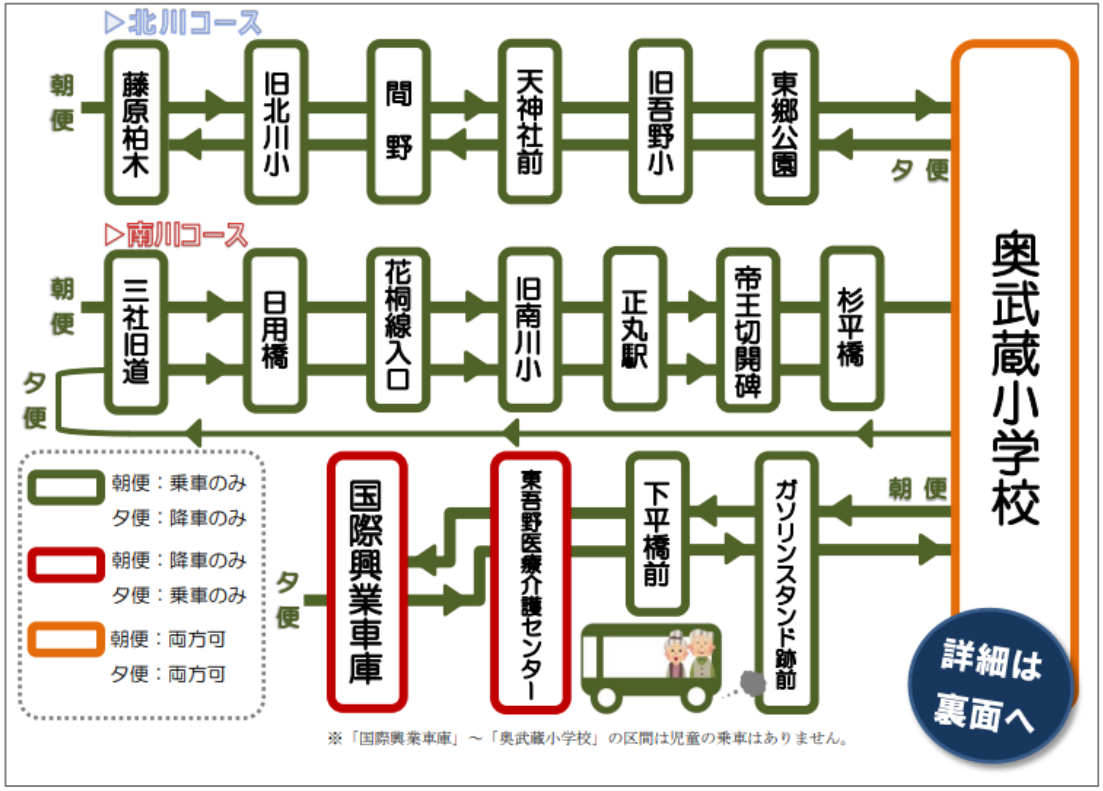
■運行日、時間
・スクールバスの運行日・時間のみ

■乗降場所
・ 児童の乗降場所のみ

■利用料金
・ 無料

■乗車方法
・ 事前に利用登録し、あらかじめ決められた乗降場所で乗車

【運行コース】



出典：飯能市ホームページ